

[1] 次の漢文を、使役の形に注意して書き下し文に改めなさい。

(1) 遇^{たまふ} 太守鄭瑒^{ていか}出^で獵^ニ、見^ミ 田草深^{ノキサ}、遣^ム 二人^ヲ 縱^{ハナチテ} 火^ヲ 焚^{ヤカ} 之^ヲ。

「遇^{タマフ} 太守鄭瑒^テ 獵^ニに出^で、田草^ノの深^ミきを見^ミ、人^ヲを以^もて火^ヲを縱^{ハナチ}ちて之^ヲを焚^{ヤカ}かしむ。」

(2) 汝^ム使^ガ下^{ラシ}吾^テ君^ヲ 以^ニ 馬^ノ 故^ヲ 殺^シ 人^ヲ、聞^{コエ} 於^ニ 四隣諸侯^ニ 上^ニ。

「汝^ム 吾^ガ君^ヲを以^もて馬^ノの故^ヲを以^もて人^ヲを殺^スし、四隣^ニ諸侯^ニに聞^{コエ}こえしむ。」

(3) 魯公命^{ジテ} 吾^ニ 呼^ビ 得^テ 一艇^ヲ 來^{タラシメ}、戲^レ 售^ニ 魚^ヲ 可^ニ 二十^ニ 豎^ニ 鬣^ニ。

「魯公^ニ 吾^ニに命^{ジテ}じて 呼^ビび得^テて 一艇^ヲを來^{タラシ}め、戲^シに 魚^ヲを可^シく 二十^ニ 豎^ニ 鬣^ニを。」

[4] 次の漢文を、受身の形に注意して書き下し文に改めなさい。

(1) 揚洲^{べんしゆノ} 卜士^ハ 瑜父^{リテ} 在^ニ 隋^ニ、以^テ 平^ヲ 陳功^ヲ、授^{ケラル} 儀同^ヲ。

「揚洲^ベ 卜士^シ 瑜父^ハ 隋^ニに在^リて 陳功^ヲを平^ラぐるの功^ヲを以^もて儀同^ヲを授^ケけらる。」

(2) 為^ス 私闘^ヲ 者^ヲ、各^ニ 以^テ 輕重^ヲ 被^レ 刑^セ。

「私闘^ヲを為^スす者^ヲ、各^ニを以^もて 輕重^ヲを被^レ刑^セらる。」

(3) 梁父^{ノハチノ} 即楚將^{ニシテ} 項燕^ヲ、為^ニ 秦將^ニ 王翦^ヲ 所^ニ 戮^{スル} 者^ニ 也。

「梁父^ノの父^ハは即ち楚^ノの將^{ニシテ} 項燕^ヲにして、秦^ノの將^{ニシテ} 王翦^ヲの戮^{スル}する所^ニと爲^ルりし者^ニなり。」

[1] 次の漢文を、否定の形に注意して書き下し文に改めなさい。

(1) 嚮^{モシ} 吾^{リセバ} 不^サ 為^{コノ} 斯^ノ 役^ヲ、則^チ 久^{シク} 已^ニ 病^{メル} 矣^{ナラン}。

「嚮^{モシ} 吾^リ 不^サ 為^{コノ} 斯^ノ 役^ヲ、則^チ 久^{シク} 已^ニ 病^{メル}なり。」

(3) 拳^{グルニ} 一隅^ニ、不^ン 以^バ 三隅^ヲ 反^セ、則^チ 不^レ 復^{ふたたび} 也^セ。

「一隅^ニを拳^{グル}ぐるに 三隅^ヲを以^もて反^セせずんば、則^チ 復^{ふたたび}せざるなり。」

(5) 詩言^{ハフ} 志^ヲ、非^{ザル} 謂^{フニ} 其^ノ 必^ズ 出^デ 於^ニ 作者^ノ 之^ニ 手^ニ、而^ル 後^ハ 見^{ハス} 其^ノ 志^ヲ 也^{ナリ}。

「詩^ハは志^ヲを言^フふ、其^ノの必^ズず作者^ノの手^ニに出^デて 而^ル後^ハ其^ノの志^ヲを見^{ハス}はすを謂^フふに非^ズざるなり。」